右本遠江守殿之遠江守の調を追加て者也為主殿の
事 小寺信正の事左の通記るもの

谷地城攻の事

城中より後詰の味方敵陣を攻破て相図を定
ケ見ば時の晩方より之陣を打退くべき事之
ケ様ぞ城を打て出で成今つづしと堅約したりしか
ども後陣の攻寄すを待て思て高名抽利をせんと
て馬を鞭高辛を振とひしめく内に敵味方の
乱声以の外城近く寄てケ見ば味方はふ好きぞ人と覚えで分
捕さて大手搦手一度に門を開て出で戸井手を馬
戸上手之此下知十郎千五百餘人大手より馬に乗て
下り手搦手より徒人かち武者
ハ城に付陣をすり進近を下知して其勢三百騎
打立て出て大手の陣を追押入と寄ハ手西
林新蔵高十三才の小冠者と大将として軍をすりて
左手之手を戸口多郎左衛門右手之手を
敵大長谷部刑部左衛門長尾安左衛門長尾弥